



7月7日(木)七夕集会が開かれる



代表委員会主催の七夕集会を行いました。まず、各委員会の代表が、委員会からの願いを全校児童に伝えました。次に、各学級の代表がステージに上がり、それぞれの学級で話し合った願い事を発表しました。また、体育館の壁には、学級ごとの模造紙に竹の絵が描かれ、そこに子どもたち一人一人の願い事が飾られていました。

「〇〇になりたい」という自分の夢の願い事が多い中、「パパみたいにつよくなりたい」や「家族みんなが長生きできますように」など家族を思っている願いや、「世界が平和になりますように」「みんなを守るヒーローになりたい」など、壮大な願い事もありました。

<各学級の願い事>

1年1組	みんながあきらめずに、楽しく元気に勉強や運動をがんばり進めるクラスになりますように
1年2組	楽しく優しく助け合い、何でも頑張るかっこいクラス
2年1組	勉強も運動も遊びも、みんなで仲良くできますように
2年2組	勉強を頑張って、いつもニコニコどのクラスにも負けない努力をするクラス
3年1組	ふわふわ言葉を使って、みんなが楽しく過ごせますように
3年2組	一人一人が協力し合い、助け合うクラスになれますように
4年1組	みんなが元気に過ごせますように！！
5年1組	笑顔あふれる、みんなが楽しくなるクラスにします
6年1組	友達や下級生に優しく接し、責任をもって行動できる6年生になれますように
あおぞら	手をつなぐクラス

※低学年は、全文ひらがな表記でしたが、漢字交じり文に直してあります。

七夕の日は、こと座のベガである織姫(織女星)とわし座のアルタイルである彦星(牽牛星)が、天の川をはさんで向かい合い、夏の夜空に輝くと言われています。江戸時代の俳人、松尾芭蕉が「荒海や佐渡によこたふ天河」と詠むほど、昔は天の川がきれいに見えたのでしょう。しかし、近年は、「光害」のために、日本の人口70%の人が、天の川が見えない場所に住んでいるとのこと。たまには、のんびりと星でも眺めていたいのですが。

第1回家庭教育学級～4年学年行事「命の授業」



7月7日（木）に、PTA文化部主催の第1回家庭教育学級が開講されました。

当日は、開講式の後、4年学年行事の「命の授業」が、群馬県助産師会から派遣された助産師関口さんと浅野目さんを講師に迎え、開催されました。

当日は、とても暑い日となりましたが、体育館には、たくさんの4年生の保護者の方や文化部の役員さんに来ていただき、4年生とともに、一人一人の「命の大切さ」を学ぶことができました。実際に妊婦さんである木幡さんに協力していただき、赤ちゃんの心音を聞かせていただいたり、坂上君とそのお母さんには、赤ちゃんが生まれる様子を演技していただいたりしたことを通して、一人の人間が生まれることの大変さや、母親・父親の思いを子どもたちは感じ取ったことと思います。このことは、一人一人の自尊感情の向上や家族内コミュニケーションの向上につながることと思います。また、この授業を通して、「生きてるだけで百点満点」という言葉のすばらしさを改めて思い知りました。

桜木中学校「トップアスリート事業」への参加 7月11日(月)

この度、桜木中学校のご厚意により、桜木中学校で主催したトップアスリート交流事業「車いすマラソン」に、6年生が参加させていただきました。

桜木中学校は、平成27年～29年度群馬県教育委員会より「ぐんまの子どもの体力向上推進事業体力向上推進モデル校」に指定されており、その一環で、この度の事業を開催したそうです。

当日は、2012年ロンドンパラリンピック車いすマラソン5位入賞の花岡伸和選手（ブーマジャパン所属）をお迎えして、アスリートになるまでの経緯やアスリートになってからの体験談をお話いただきました。そして、実際にレースに使う特別製の車いすに中学生を乗せ走らせたり、中学3年生から小学6年生それぞれ3人ずつ通常の車いすを使って体育館内でレースをさせたりと、体験を入れながらの、有意義な時間を過ごさせていただきました。



花岡先生の、「好きなことなら頑張れる」「失ったものを数えるな。残されたものを生かせ」という言葉が心に染みしました。



桜木中学校さんのおかげで、6年生は、本物に触れることのできた貴重な体験をすることができ幸せでした。